



武蔵野

埼玉大学図書館 2009年6月10日 1号

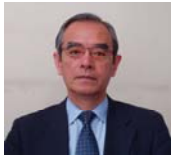


「武蔵野」創刊 定期刊行されていた館報「むさしの」が途絶えて数年になります。図書館を知っていただくために、ささやかですが「武蔵野」を発行いたします。利用する皆さんの声を掲載すると共に、館員からのメッセージも載せたいと思います。公立図書館の民間委託が進む中、大学図書館はどのような役割を果たすべきなのでしょう。利用者みなさんが展開する知的・創造的で文化的な活動を支えるべく蔵書・諸資料を充実させ、利用の便を図ることが最も重要な役割の一つでしょう。大学で進

められている教育・研究の情報を、広く世界に発信することも現代の大学図書館に課されたもう一つの大きな仕事です。あらゆる情報が電子媒体に載せられ、蔵書の価値・意義が問い直される時代にあります。しかし、書籍は、「情報」・「文化」であると同時に、印刷・製本、材質、装丁、等々に時代を反映する貴重な工芸品・芸術品でもあります。図書館が知識の宝庫であるとともに、思索や発想を深め醸成し、創造の源となるよう、館員一同力を合わせて努める所存です。(図書館長 坂西友秀)

図書館ニュースの発刊によせて

“知”の創出と“知”の継承、すなわち研究とその成果に基づく教育を行うことを基本的使命とする大学において、その“知”の拠点としての位置づけにある図書館は、学生の皆さんにとっては、本に触れ、情報に触れ、文化に触れ、



大学で学ぶことの意義を感じる空間でもあると思います。そこはまた、講義を受ける教室やゼミの研究室などとは異なる空気に満ちた場所でもあるでしょう。そして、自分にとって図書館の存在が大きいほど、大学での学びを、より深く、より高く、より広くすることができるでしょう。図書館の利用を通じて思いもよらぬ発見に出会い、それにより新しい自分自身を見出すかもしれません。また、図書館は、より高度な研究と教育の推進に必要な情報を、様々な形で可能な限り提供することを使命とし、同時に、文化の発信、研究成果の発信を積極的に推進して社会に貢献する役割も担っています。ますます図書館を充実させるためにも、皆さんの積極的な利用を期待します。(総合情報基盤機構長 川橋正昭)

旧制浦高記念展示室の完成を願って

旧制浦高同窓会の解散に際して、事務所に保管していた図書その他の所蔵品を、埼玉大学が引き継いで下さり、その上、記念展示室を設け、永く保存、展示、教育の資として頂けることになり、同窓生一同衷心より感謝致しております。また、去る3月24日開催の浦高最期の記念祭の時には、埼玉大学が浦高のエトスを引継ごうとのご意志を明確にされ、同窓生一同が共通に抱いていた解散の寂しさ悲しさを、一挙に吹き飛ばして呉れました。浦高の貴重な「もの」に併せて「たましい」をも確実に引継いで頂けることに、同窓生一同感激致した次第です。何卒、お力添えは惜しみませんので、記念展示室を立派に完成され、大学教育、特に教養教育において、浦高教育の真髓を伝えて頂くよう願いたします。

(旧制浦高同窓会常務理事 上田治三郎)

館員通信

図書館利用マナーのうち、以下については特にお願いします。①返却期限日を厳守してください。返却期限日を30日以上超過した利用者には掲示による督促を行います。それでも返却しない利用者がいます。貸出期間は4週間あり、返却期限内に手続きをすれば4週間の延長ができます。図書館の図書は大学の共有財産ですので、他の利用者のために、貸出期間を過ぎる前に図書館に返却してください。②館内では飲食禁止です。図書館資料を守る一方で、利用者の水分補給の必要性を考慮して、館内の一部に蓋付き容器で飲める場所を設置する代わりに、他の場所では飲料水はかばん等に入れることをお願いしました。残念ながら、今でも閲覧室に紙パックなどの飲料水を持ち込む利用者がいます。飲料水は定めた場所で蓋付き容器により飲んでください。(利用サービス係長 小野寺伸)